

智の学び講演会 ～国連防災機関 松岡 由季 氏～

令和8年3月3日

3月3日（火）に本年度2回目の「智の学び講演会」を実施しました。この企画は、社会の第一線で活躍されている方を招いて講演いただき、生徒たちがこれからの人生への刺激やヒントを得て、いずれは社会のリーダーに育ってほしいとの願いを込めた行事でもあります。

今回の講師は、国連防災機関（UNDRR）駐日代表の松岡 由季 氏です。

松岡様は民間企業や外務省で活躍された後、国連に入職し、現在は国連防災機関の駐日代表として、世界中のステークホルダーと連携し、アジアや世界の防災政策・協力を促進するため多方面で活躍しておられます。

本日は「世界へ羽ばたくみなさんへ」というタイトルで、「国連でのお仕事」「世界中の災害による被害と日本が果たしている役割」「人生において大切だと思うこと」などについて、わかりやすくお話いただきました。

講演後は、生徒会によるインタビューに応じていただきましたが、生徒の質問に対して1つ1つ本当に丁寧に回答いただきました。

私は、松岡様が「物事を成し遂げるのに近道はなく、一見遠回りのように見えても、その道の方が多くの学びが得られ、結果としてより遠くの大きな目標にたどりつけることがある」また「皆が学んでいることは広く身に着けつつも、自分がコアにしたいことはさらに力を入れていくとよい」といった率直なアドバイスが、生徒たちにこれからの指針と勇気を与えてくださったのではないかと思います。

松岡様、本当にご多忙の中を、本校生のために駆けつけてくださり、心から感謝申し上げます。

生徒たちに憧れを与えてくださったと思います。

ありがとうございました。

生徒たちが世界へ羽ばたいていく日もそう遠くはないと思います！ ご講演の様子



生徒会によるインタビュー



終了後の謝辞